

第381回 TSMMセミナー

リアルタイムPCRシステムの仕組み、検出の原理、解析の概念・方法などこれからmRNAの発現定量をリアルタイムPCRで実施する上で理解しておきたいことを中心に解説します。
また、最近ではリアルタイムPCRを使用した新規変異のスクリーニング(HRMアッセイ)が普及してきています。本セミナーの中では、HRMの原理や応用、解析のコツを分かりやすく説明いたします。

リアルタイムPCRを用いた 発現定量と変異解析について

セミナー概要

1. リアルタイムPCRとは
2. 絶対定量と相対定量の概念
3. サイクル比較法(Ct法)
4. リアルタイムPCRの注意点
5. HRMにおける変異解析について
6. HRMにおける注意点

日時・会場: 10月17日(木)
健康医科学イノベーション棟8階講堂
17:00-18:00

講演者: 片山知秀
(ロシュ・ダイアグノスティクス
株式会社
サイエンティフィックサポート部)

* TSMMセミナーは、フロンティア医科学専攻(修士)「医科学セミナーII」(担当:久武 幸司)、生命システム医学専攻 & 疾患制御医学専攻(博士)「最先端医学研究セミナー」(担当:熊谷 嘉人、武川 寛樹)及び「医学セミナー」(担当:専攻各教員)の関連セミナーに相当します。

主催: 筑波分子医学協会

(TSMM:Tsukuba Society for Molecular Medicine)

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/tsmm/> 協会代表: 榎 正幸

連絡先: 筑波大学医学医療系 川島明弘

(内線 3355 tsukutsukukawashi@md.tsukuba.ac.jp)

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

AS事業部(研究用試薬・機器)

〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番1号

TEL. 03-5443-5287 FAX.03-5443-7098

E-mail:tokyo.as-support@roche.com

